時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遠境料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓
○一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ送付スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ郵税料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

時事新報

探偵論

歴制の爲めに探偵を用ふるものあり仁惠の爲めに之を行ふものあり其目的は唯爲政者の方寸あるのみにして存すと雖も凡そ政治を施すには國内の動靜を詳かにするを第一要義あれば探偵の必要あるは申す迄もなき次第にして時に或は陰險の所爲を以てするも亦未だ必ずしも咎む可らず佛帝ナポレオン第三世の時代は世ふ探偵の振も能く行屆きたるものにして一方より之を許すれば自由湮滅、道路目を以てするの有樣なりしかども治世の成績より之を見れば盛藉赫々四隣ふ燿き渡りて其威名は世界に轟きたるふ非ずや若しも目的の美なるものは之に達する方便の醜を抹殺するに足る可しとすれば一任探偵を嚴密にして多少歴制ふ頗ふるとありとても實際に於て何かあらん國榮ふ民富みて世界に向て其光榮を擅ふみとを得れば我輩は寧ろ之ふ滿足せんと欲する者なり或は然らずして政治の一動一止悉く道理の正面より演繹し來りて恰も窮屈ある雛形の中に押籠め去るが如きは腐儒に非ざれば白面書生の空談ふして世態人情の舵を取るべき政治の眞味を解せざるの過のみ我輩は政治家ふ向て漫に探偵の使用を咎むる者に非ざるなり

右の如く探偵の使用は今の政治に必用にして其効能も亦時として大なりと雖も扨られを用るふ當り如何なる政治家ふして之を利す可きやの問題は頗る思案を要する所のものあり抑も探偵は政治家の秘術あり秘術は一個人の方寸ふ秘す可きのみ他人と共にす可らざるは事の性質ふ於て明白なれば一國施政の權柄を唯一人の手に掌握し一人の心を以て萬機を左右するみと彼のナポレオン三世の如く又今の獨相ビスマルクの如き地位の人にして初めて實用を爲す可し苟も二人以上聯合して雖兄弟の地位に在る政治家が他の獨裁君相の類ふ倣ふて探偵を用ひんとするときは甲乙丙丁ふの〳〵其探らしむる所の方向を異にして異種異樣の事實を摘發し寄り相互に衝突して民間の事實黒白を辨ずるに由なきのみならず其探偵の頂上に上りて甚ざしきは他人の果事を探りながら其身も亦他ふ探らるゝが如き奇相を呈し其内心に於て陰に相反目するの患なきを期す可らず斯の如きは則ち探偵は外情を探るの具たらずして却て内情を苦々しくするの媒介たる可きのみ我輩の最も取らざる所なり方今我政府の筋に於ても探偵は隨分密なりと云ふ然り而して政府の中に一個のビスマルクありて探偵も亦唯ふの一個人の方寸より發して探り得たる事實は集まりて其方寸に收まるか甚ざ妙ありと雖も[illegible]然らずして我名の當局者が思ひ〳〵に探偵を放つか、或は探偵なるものが一種定式の事務と爲りて恰も割立の極點を堅ずし次節に物議を致し次節に上達し[illegible]の嘴を探出すが如きありては其奇験は政[illegible]失ふ利する處とおくして却て歴然たる實情の原素たる可きのみ事物の利弊相伴ふは人間の約束にして我政府の探偵至極密ありと聞き或は其利に伴ふ弊はおかる可きやと老婆の心取て一言を呈して當路者の注意を促すのみ

雜報

○日本人の淡泊、條約改正の杞憂　條約改正の着々その歩を進めて多年の企望漸く成らんとする今日世間ふては又々喜の内に杞憂を抱くものありて近頃益々其勢を強め内地雜居の曉ふは日本の商權も鐵道も土地も又裁判權も悉皆彼の有に歸し八洲の草は外人の蹂躙ふ任すの外なかるべし抔とて頻りに憂慮する者あるよしなれど是等は唯か杞憂に過ぎ種々の想像を畫きて苦痛を催すの事あらんが玆に一ッの恐るべきみとありと云ふは條約の本文裁判權の云々に非らずして日本國の人民が餘りに淡泊に過ぎ隱す所なき一事あるべし其理由如何と云ふふ元來西洋諸國は諸事萬端を公開して決して隱す所あるに反し東洋諸國は一事一物の細と雖も公けに衆人の見聞を許さざるのみか容易に語るみとさへ無き程の國柄にて其相違非常なれども是は外面の事ふして其實西洋ふても秘密の事は飽まで秘密ふして其嚴重なるみと決して東洋人の淡泊なるが如くあらず其證據は親しく彼の地の工場を視察したるものゝ熟知する處にして何れも自由ふ外人の縱覽を許さゝるのみか同じ場内の職工同士にさへ互の往來を許さゝる迄嚴重にして若しも外人ふして其工場の職工たらんとせば莫大の金を擲たざるべからず況んや只の見物者ふして縱覽せんと欲するも到底其志願を遂るふと能はざるよし左れば西洋諸國ふては專賣特許の法律あるも諸般の仕組整頓して專賣の權を全うするを得べく嚴重ふ工場の秘密を隱秘して洩らすみとなければ決して他より其事業を侵害せらるゝの恐れあるも日本人ふ至ては諸事淡泊ふして大ふ外に師の念もなければ秘密の鍵も又嚴重あらず颯々と人に示して憚らざるのみならず外國人と聞けば我より進んで極秘の處迄も披露に及ぶみと珍らしかも既に先年外國の博覽會に我國より出品したる節にも一々其物の性質より製作の材料は勿論製造費等一點の虚を交へずして餘細なる報告書を添へたれば外人は直ちに印刷に附して之れを市中に配布したるより世人は忽ち日本物品の秘密を審にして日本人の眞率なるふ驚きたる奇談もありたりと云へり左れば此の有樣にして一朝外人が内地に雜居する事となり勞する處おく製造品の秘密を探知して巧に模擬品を製し國内人と競爭を始むるに至らば假令特許の條例あるも拒ぐに其術なかるべく是れぞ由々しき大事あれば他の事情は兎も角も今少し商賣根性を出して自衛の謀あらまはしき事ありと云ふものあり

○廣東と日本の貿易　廣東は支那の南部にある一大都會にして通商貿易も隨分盛大なる場所なり我國にても領事館の設あれども日本人の同地に在るものは僅かに二十餘人其内三分の二は婦人にして西洋人の妾となり其日を送るもののみなり殘餘の男子とても此れぞと云ふ立派なる商店を開いて商賣するものとては殆んど無しと云ふ有樣あるよし日本より同地への輸入品は玩品日用品等の小物にして其額も少あからず近ぐ盛大となるものの見込もあれど今日の有樣にては日本人が自ら同地に赴きて商賣するは中々困難なる事情あり其次第は先づ日本支那兩國人の性質の異なる事あり支那人は商賣上に於ては耐忍強きのみならず兎角狡猾に立廻るを少しも意とせざる風なり然るに日本人は甚だ簡單ふして迚も支那人同樣に立廻る事能はざる其外ふ言語の不通なると商賣の模樣に不案内なる等より支那人と同じ[illegible]きを爲すに至るは容易の事にあらざるべし左ればにや商機營利ふ敏捷なる西洋人すらも同地ふ於ては自ら店頭に出でゝ商賣を爲さず適當ある支那人を傭ふて自分は奥座敷に引籠り一切打ち任せ居る次第なり要するふ同地に赴きて日本人々商店を開かんと欲せば純然たる支那人に化せざる可らず然らざる以上は到底競爭の見込無かるべし今日の處にては廣東への輸入品は支那人の手を經て來るを視て日本人自ら進んで此等を取るべしと云ふものあらんなれども他の支那の地方は知らず同地ふ於ては差當り日本人自ら商賣に出掛くるも入費多くして利益少なかるべければ同地の商賣は支那人ふ任せ彼我の模樣を見て輸出の計を爲すを勉むる方好かるべしとなり今日同地へ輸出する品物は大抵粗製品ふして日本ふて斯る粗末なるものゝ外製造する能はざるゝと思はるゝ程ありと支那人は大抵變化おき人民おれば隨て其反物類の如きも日本人の心を以て推し樣々に模樣絞取を替へ新規を誇るは更に益おし支那の人情は舊來見慣れしものにあらざれば好まず又た衣服は多く無地おれば反物も模樣なきもの賣捌きふ便あり廣東に於て日本品を賣捌く町は同地の十八甫と云へる所の由なるが此町ふ入込めば先つ目ふ觸るゝは日本の手拭ふして至る所の店頭ふ吊るさゝるはなしと云ふ今何故に斯くも需用の多きやを聞くに其丈夫ふして汚の目立たざるふ在りと云ふ又た同地は氣候非常に温暖にして一年中に十一、十二、一の三箇月に袷衣を用ふるの外は大抵單衣物を用ふる位ふて其寒暖の我國と異なる如く又た其日用品ふ於ても意外の相違あり同地は斯く温暖なれば日本ふ於ける如く絶えず火を蓄ふる事おく火を焚くは一日三度の食事の時のみなり去れば日本に於ては鐵瓶おく常に火の上ふ掛け置く事なれども同地にては一旦水を沸騰せしめて湯とおす時は容易に冷えざるを以て大抵湯を大おる瓶の如きものふ入れ其外部を包んで熱を保存する位にて事足るおり左れば我國の心持ふて種々火鉢に屬するものを送るふ人あれど是等は甚だ不向きおるよし尚は將來見込あるは海産物ふして最も蝦を好み上等の料理ふは大抵之を用ふるを例とす尤も同地産の蝦なきにはあらざれども到底供給は需用を充す事能はずして外ふ仰ぐの勢なれば今度尚は積送りて差支へ無かるべし但し總て支那は物の賣買ふ輕重を秤りて値打を付る事おれば同地の商人は秤量の重きものを厭ふ風あり日本より貿易品を出す人は最も此邊に注意するふと緊要なるべしと同地ふ久しく滯在して彼地の事情に委しき人の物語り

○東京炭坑會社　支那の國境に近く昔の東京王國の邊隅に位するクオンエン州は石炭其他の鑛物に富むを以て昔より世に聞えたれ共佛國政府が東京、安南全國を擧げて屬國とおさん爲め ヘンリー リヴェール氏の死を咎め安南に向て戰を布告したる頃迄は皆て質地ふ開掘の事を企てたる者ふして安南のツーダク王死してクールベー將軍が順化府を砲撃したる後盟みの如く服從せしひるみとを待てければ千八百八十三年には ハルマン氏を佛國共和政府の全權大使として條約を結ばしめ堅千八百[illegible]使として更に條[illegible]勢ひ尚は未だ全[illegible]りければ佛國[illegible]する内近所に百[illegible]吏は始めて旋[illegible]用意したる後[illegible]も開掘を始め[illegible]は空しく何の利[illegible]ヴィエ ショ[illegible]付き其地に於て[illegible]資本家の總代[illegible]と共に海賊の[illegible]ン灣の内地を[illegible]稱する所の誤[illegible]商議し十萬弗の[illegible]兩地に於ては[illegible]の手續きを爲[illegible]んとするふ及[illegible]められたり蓋し[illegible]黨新聞の攻撃[illegible]ふ同意するみと[illegible]ール氏が約束に[illegible]情の起りたる事[illegible]終に時の東京[illegible]爭論を避けん[illegible]約束を有効の[illegible]すべしと判決[illegible]去したれども後[illegible]より始めて佛國[illegible]きバヴィエ シ[illegible]に來りチャタ[illegible]め上海の有名な[illegible]其賴母しき報告[illegible]は一株五百フラ[illegible]八十萬圓）を以[illegible]おりと

○草鞋旅（第廿[illegible]し利根川を舟に[illegible]十分吾孫子驛に[illegible]十餘戸近頃數[illegible]内に友人加藤[illegible]時同處を出發[illegible]傍に手賀沼と[illegible]年々之を漁し[illegible]云ふ然るに近[illegible]葉縣廳は本年[illegible]に於ての魚漁を[illegible]下警察署の分[illegible]子を距る二里[illegible]箇村合併の上[illegible]る小金を距る[illegible]は秋葉神社の[illegible]殊ふ佐倉分營[illegible]郡役所警察署[illegible]川を舟ふて渡[illegible]一里九丁戸數[illegible]國の養蚕に從[illegible]